

郷土にふれ、郷土を知り、郷土を伝える ふるさとに学ぼう

—郷土教材からみる ふるさと福井—

開催期日
開館時間
休館日
所在地

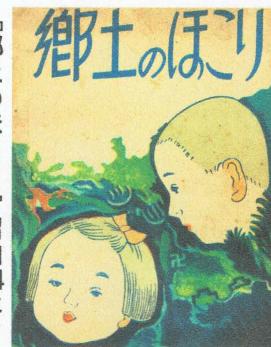
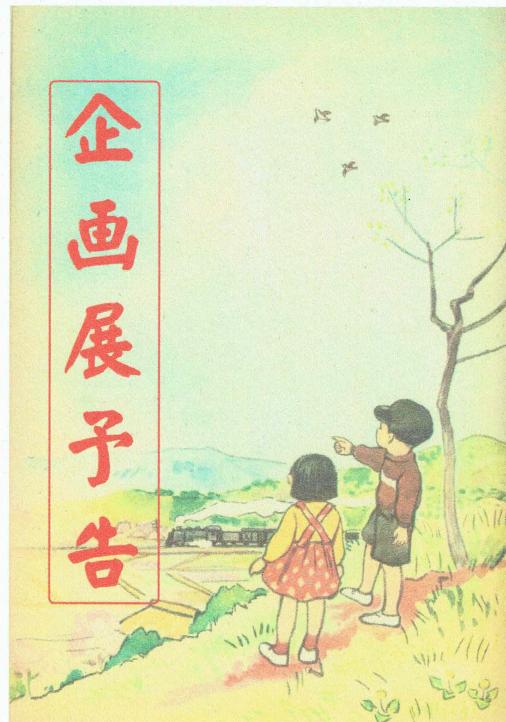
平成29年9月9日(土)～11月5日(日)

午前9時～午後5時(土日開館) 最終入場は、午後4時30分
毎週月曜日、祝日の翌日、年末年始ほか【無料】 詳細はHPで
坂井市春江町江留上緑8-1(旧・春江工業高校施設)



学びの原点は 身近な所から

「世界を理解する想像力を養う為には、まず学校近傍地域の、精密な観察より始めよ」という内容が『小学校教則綱領』(明治14年)に見られた。そこで、昔から郷土を知ることの重要性が説かれています。そして現在、社会のグローバル化が進みつつあるからこそ、「直に触れて学べる」



『郷土のほこり』昭和24年

郷土での学習がたいへん重要な基盤でもある郷土での体験や学びから生まれます。今回の企画展では、福井県の郷土史料や現在の各学校の実践など、多くの資料を紹介します。

学習の教材・副読本をはじめ、歴史史料や現在の各学校の実践など、多くの資料を紹介します。

現在、郷土を題材に学習を行うことは、ごく一般的ですが、そもそもどのような意義を持ち、どのような経緯でその学習が行われてきたのかは意外と知られていません。そうした郷土を題材とした学習の歴史を振り返ります。

この夏の「唱歌や童謡を歌おう with ニカリナ」(16歳)映画上映会には、大勢の皆様にご来館いただきました。どうございました。

●郷土を題材にした
学習の歴史

●郷土学習

展示構成 [1]

学びの原点・
郷土学習

●展示構成 [3]
郷土のよみもの
学習資料閲覧

●各学校での郷土学習・
郷土での活動紹介

●展示構成 [2]
郷土にふれる・
郷土を伝える

夏季イベント 来館御礼

「郷土」を開発し、郷土教育を進めていますが、各市町・公民館・学校独自でも様々な教材・副読本を作成し、より身近な学習を行っています。

副読本を作成し、より身近な学習を行っています。

県では数々の「ふるさと教材・副読本

